

研究インフラとしての アジア経済研究所図書館

日本貿易振興機構アジア経済研究所
泉沢 久美子

概要

- 図書館の沿革
- 蔵書の収集範囲と特色
- アジ研の研究と研究支援機能
- 図書館としての研究支援：蔵書構築、情報提供
- 研究支援としての情報発信、デジタル化
- 対外的な研究資源整備ネットワークへの参加
- より開かれた研究図書館をめざして
- 今後の課題

図書館の沿革

- 1960年 特殊法人アジア経済研究所図書資料部として発足
発展途上国研究資料センターをめざし、一般に公開
- 1978年 研究所のレファレンス窓口として資料情報相談室を設置
- 1998年 日本貿易振興会（JETRO）と統合
図書館部門は日本貿易振興会図書館として組織を一本化し、
本部にビジネスライブラリー、研究所にアジア経済研究所
図書館を設置
- 1999年 東京都新宿区市谷から千葉市幕張新副都心へ移転
- 2003年 独立行政法人日本貿易振興機構に改編。「アジア経済研究
所図書館」となる。
- 2005年 ジェトロ本部ビジネスライブラリー内にアジ研サテライト
設置
- 2010年 第1回市場化テスト開始（2年間）
- 2012年 第2回市場化テスト開始（3年間）

蔵書の収集範囲と特色

- 現地資料の収集：発展途上国の統計資料等政府刊行物、新聞、雑誌
- 学術的文献の収集：社会科学分野を中心とした国内外の研究リソース
- 国際交換による収集：約1,000の海外研究機関、国際機関
- 現地から直接購入：国内で入手困難な新聞・雑誌、多言語文献等

<現在の蔵書（概数）>

| | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 図書：640,000冊 | 洋書：267,000冊 | 和書：90,000冊 |
| | 中国語：50,000冊 | コリア語：24,000冊 |
| | アジア諸語：24,000冊 | 製本雑誌：75,000冊 |
| | 統計資料：110,000冊 | |

逐次刊行物：約3,500タイトル（継続中：約1,000誌）

新聞：約470紙（継続中：100紙）

地図：約50,000枚

雑誌・新聞等のマイクロフィルム：約70,000リール

地域担当ライブラリアン

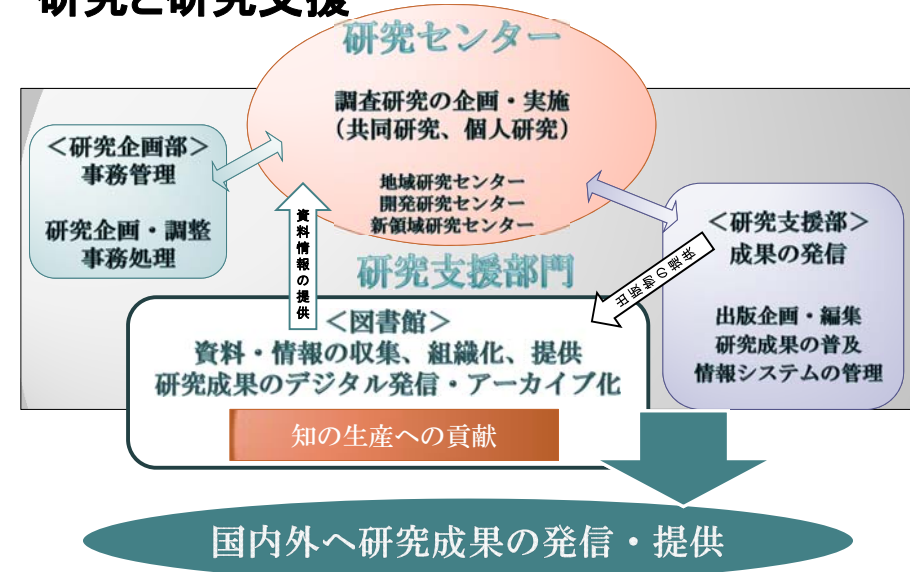
中華圏：3.5名
 東南アジア：4名
 中東・北アフリカ：2名
 ラテンアメリカ：2名

朝鮮半島：1.5名
 南アジア：1名
 アフリカ：1名

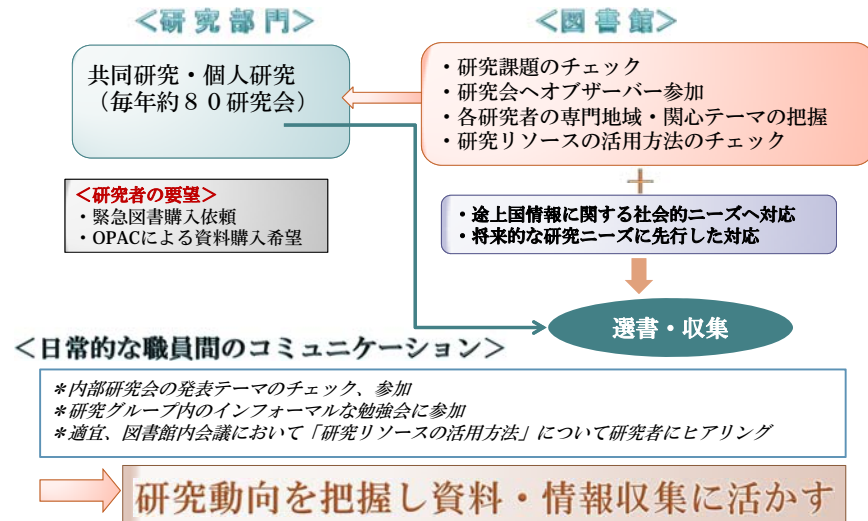
- 選書
- 現地出張による収集
- 多言語資料の整理
- レファレンス
- 地域ページ
(ウェブ情報発信)
- 各地域研究者への協力・支援
- 資料展の企画・実施



研究と研究支援



蔵書構築：ニーズの把握



資料・情報のサポートとナビゲーション

- 図書館イントラサイト (LibNavi) の提供**
 所内用の利用案内、資料購入手続き方法、データベースの利用マニュアル、問合せ先・地域担当者一覧など
 - 情報リテラシー研修：年1回開催**
 図書館の利用方法 (OPAC、ILL等)、データベース、電子ジャーナルの使い方
 - 図書館ニューズレターの発行**
 オープンデータ、研究リソースに関する世界的な動きの紹介、新規購入等の資料・情報の案内、アジ研図書館の活動等の紹介
 - 新着図書ジャケット展示 (研究棟1F、月2回)**
- <ウェブでの情報発信>**
- 毎月の新着図書リスト、新規雑誌記事索引リストの提供
 - 地域別情報の提供・・・特殊コレクションの紹介、参考図書紹介、資料事情紹介など
 - 「近現代アジアのなかの日本」・・・今日植民地関係資料総合目録データベースの提供



研究成果のデジタル発信・アーカイブ化① — 学術情報の流通拡大に向けた貢献 —

- AIDE：アジア経済研究所出版物アーカイブ**
 1990年（無料出版物は1980年）以降に刊行された全出版物を論文単位でデータベース化し、全文情報を提供。
 * 2013年度末現在：11,024件（PDF）
 * 刊行後5年以内の出版物は賛助会員のみ提供
- ARRIDE：アジア経済研究所 学術研究リポジトリ**
 研究所の研究員の研究成果を収集・保存し、世界に向けて発信
 * 2013年度末現在：953件（PDF）
 * RePEc, Google Scholar, Scientific Commons, OAIster, JAIRO など、世界のメタデータ収集サイトに提供

研究成果のデジタル発信・アーカイブ化② — アジアの政治・経済情報の提供 —

• アジア動向データベース

約40年にわたるアジアの政治・経済情報をデータベース化しウェブ公開。国別・年別にブラウジングとフルテキスト検索、主要経済指標のダウンロードが可能。
 * 刊行後5年以内の出版物は賛助会員のみ提供



研究所出版活動への参加・協力 — ライブラリアンの知見を活かす —

- 『アジ研ワールド・トレンド』（月刊誌）**
 * 連載「ライブラリーコーナー」に毎月執筆
 * 毎年図書館に関する特集企画を担当（4月号）
- 『アジア経済』（季刊誌）**
 * 書評委員会参加：書評対象図書館の推薦
- 『ラテンアメリカレポート』（年2回）**
 * 編集委員会参加：「資料紹介」に協力
- 『アフリカレポート』（不定期）**
 * 編集委員会参加：「資料紹介」に協力

研究資料関連のネットワークへ参加

- 「東南アジア逐次刊行物に関する情報発信研究会」
(京都大学東南アジア研究所)
- 「アラビア文字資料司書連絡会」
(NIHUイスラーム地域研究)
- 「INDAS資料整備委員会」
(NIHU現代インド地域研究)
- その他、科研費共同研究の協力者として参加

より開かれた研究図書館をめざして —外部発信・連携の強化—

- 企画資料展・講演会の実施:外部図書館との連携
—豊富なコレクションをアピールする—
2012:千代田区中央図書館『新興国の今を知る』
東京大学駒場図書館『アフリカの社会・経済開発と平和構築』
2013:横浜市中央図書館、浦安市立図書館『アフリカと出会う300冊』
お茶の水女子大学附属図書館『イスラーム世界の女性たち』
- 図書館共同利用制度の新設(2013年度)
—図書館相互のリソース・シェアリングを図るとともに、
アジア研究図書館所蔵資料の利用を促す—
連携協定の締結によって、相互の所属員に個人貸出とILLの貸出冊数の拡大を実施。
神田外語大、一橋大、東京外語大、お茶の水女子大

IDE JETRO 日本貿易振興機構(ジェトロ) アジア経済研究所

HOME 調査研究 出版物・報告書 図書館 データリソース 開発スクール アジア経済研究所について

HOME > 図書館 > 利用案内 > 図書館共同利用制度

図書館

蔵書検索(OPAC)
各種資料リスト
地域別資料ガイド
デジタルアーカイブス
学術研究ポータル
速上図リンク集
お知らせ

利用案内

- 開館時間・休館日
- ご来館にあたって
- サービス案内
- 施設案内
- 交通アクセス

グッドロゼビジネスライブラリー

アジ研サテライト

図書館

図書館共同利用制度について

アジア経済研究所図書館の所蔵資料を開発途上国研究の公共財としてより広く活用していただくために、「図書館共同利用制度」を設けています。この制度は図書館相互協定によって実施されるもので、その機関の所属員の方は館外個人貸出などのサービスが受けられます。図書館利用カードが必要ですので、手続き方法については、ご所属の図書館にお問合せください。

図書館共同利用制度 協定大学の方へ

- 神田外語大学図書館 (蔵書PDF)
- 一橋大学附属図書館 (蔵書PDF)
- 東京外国語大学附属図書館 (蔵書PDF)

サービス詳細

貸出冊数・貸出期間
一人10冊まで 一般図書30日間 統計図書14日間

貸出対象資料
アジア経済研究所図書館が所蔵する一般図書、および統計図書
※貸出対象外資料:参考図書、年刊誌、統計書(年刊・雑誌)、雑誌、新聞、地図、マイクロ資料、ビデオテープ、CD-ROM等

貸出手続き
来館による貸出のみとなります。
事前に図書館利用カードのお申し込みが必要ですので、ご所属の図書館にお問合せください。
閲覧カウンターで貸出を希望される資料と一緒に図書館利用カードをご提示ください。

今後の課題

- 蔵書構築
研究テーマの細分化、多様化への対応
資料の現地(直接)購入の拡大:現地購入が困難な地域の解消
印刷媒体から電子媒体へのシフト
欧米学術雑誌の電子ジャーナル化、統計指標のオープンデータ化への対応
- 情報発信と適切なナビゲーション
WEBによる情報発信の拡充:地域別研究情報の発信
来館型サービス ⇒ 非来館型サービス
- 管理業務の効率化・省力化
- 第3期「市場化テスト」への対応
- 他機関との連携:リソースシェアリング
①利用 ②保存 ③収集